

## 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 71-73 ページ)

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	17 商工業の振興

### ★ 目指す姿

商工業の活性化によって、市内で「住む」だけでなく、「働き、消費する」という好循環が生み出されている。



### ■ 施策の主な取り組み

#### ① 企業の活性化

市内における企業の経済活動の活性化や経済規模の拡大を支援し、地域経済の好循環を促すことで、雇用機会の創出を図ります。

##### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
企業立地件数	件	事業計画を認定した企業数(令和元年度からの累計)	1	6 10 14
各種補助金申請件数	件	市補助金4種(設備投資促進補助金、商品開発・販路開拓等支援事業補助金(～R2産学連携促進補助金)、特許等取得支援補助金、環境配慮型企業定着促進補助金)に対する申請件数(令和元年度からの累計)	7	42 70 98
番芝ブランド認定件数	件	地域ブランド「KASHIBA+」認定件数(令和元年度からの累計)	23	33 43 53

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	企業支援事業	各種補助制度により、市内企業の経営を支援します。また、企業誘致や市内企業の移転・増設等の企業立地を推進します。地域ブランド「KASHIBA+」の認定品の拡充や市内外での認知度の向上のためのプロモーション活動を実施します。	●

#### ② 創業の促進

市内企業の競争力の強化や新たな産業構造の構築、雇用創出の原動力となる新規企業の創業を支援し、地域経済の活性化を図ります。

##### ◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値 R6 R10 R14
市内での創業家数	人	市の各種制度を活用して創業した人数(累計)	11	66 110 154

#### ■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	創業促進事業	創業者支援制度や番芝市商工会と連携して実施する創業セミナー等により、市内の創業希望者を育成・支援します。	●

### ■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		担当所管
今年度の事業実施計画		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性的内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入	
①-1	企業支援事業	【実績】 ・設備投資促進補助金の申請件数は例年と比較すると少なかったが、その他の補助金については概ね例年とほぼ同様の申請件数であった。 ・「かしば産業展」を開催し、例年より出展者数が増え、昨年度の延べ490人を超える延べ723人の子どもが参加した。また、はたらくるまブースや市内事業者によるキッチンカーエリアを設けたことで、子どもだけでなく保護者にも市内事業者をPRすることができた。 ・「産地直に卸れた」KASHIBA+の動画をYouTubeの広告にて放送するなど、積極的にPRを行った。 【課題】 ・各種補助金の補助要件が事業者のニーズに合ったものか、検討が必要である。 ・「KASHIBA+」の広告配信について、配信先のターゲットを絞り、費用対効果を高める。	A	75	現状維持	【成果の方向性】 ・地域資源を活用した新たな事業の創出や持続可能性の高い産業の誘致を推進するとともに、中堅企業支援を充実させるため、補助制度の周知を行う。 ・「KASHIBA+」のPRについて、地域ブランドとしての認知されることが重要であるため、従来の人が集まるイベントでのPRだけでなく、テレビ・インターネット等の各種メディアを活用して実施する。また、市外だけでなく市内の認知度向上にも努める。 【コストの方向性】 ・補助制度の廃止については、事業者へのアンケート等で見極めていく。 ・「KASHIBA+」については、認知度向上を図るため現状維持とする。	
				59	現状維持		
				64	現状維持		
②-1	創業促進事業	・創業促進補助金 【実績】募集期間:4/1～5/31 申請数及び採択数:2名応募 内、2名採択 【課題】応募者数が減っているため、周知方法を検討する必要がある。 ・アドバイザー制度 【実績】制度の枠の拡充を行ったが、奈良県よろず支援拠点が実施する創業支援が前年度のWeb開催となり、番芝市のアドバイザー制度利用者は5枠中3名と少なかった。 【課題】マンツーマンでの指導をPRし、周知方法を検討する必要がある。 ・番芝みらい塾 【実績】12/7～2/8 全8回開催 受講者18名 【課題】開催にあたり周知方法を検討する。	A	67	現状維持	【成果の方向性】 ・商工会及び市内金融機関との連携により、創業支援施策について周知や支援を行い、創業意識を喚起し地域経済の活性化を図る。 【コストの方向性】 現状維持とする。	
				59	現状維持		
				72	現状維持		

### ■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種補助金の効果検証を行い、商工業振興協議会の意見を踏まえ(仮称)第三次商工業振興基本方針の方向性を決定する。</li> <li>・「KASHIBA+」について、メディアやSNSを活用したPRを行い、認知度を高める。</li> <li>・番芝みらい塾について市内金融機関やハローワーク等にチラシの配布を依頼する等、周知の強化を行う。</li> </ul>
---------	---

担当課評価	成果の方向性	コストの方向性
A 2 事業	拡充 0 事業	拡大 0 事業
B 0 事業	現状維持 2 事業	現状維持 2 事業
C 0 事業	縮小 0 事業	縮小 0 事業
	休廃止 0 事業	休廃止 0 事業

令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 74-75 ページ)

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	18 農業の振興

★ 目指す姿

農地が適正に保全され、朝市等の利用により農業を身近に感じることができ、地産地消が浸透している。

SDGs該当分野



■ 施策の主な取り組み

① 農業体制の整備および市内農作物の魅力創造

後継者の支援や新たな担い手育成により、耕作放棄地の増加を防ぐとともに、農地に出渡る有害鳥獣による農作物の被害防止に努めます。また、香芝産酒米等の生産拡大を図り、市内外への販路拡大などに取り組みます。

■ 実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	農産物鳥獣被害防止事業	有害鳥獣による農作物被害が発生している地域を的確に把握し、鳥獣を捕獲する猟友会との連携を図りながら対応を行います。	●
①-2	地産地消推進事業	100%香芝産の素材にこだわった農作物の生産拡大や販売の促進、市内学校給食での使用拡大に取り組みます。また、香芝産酒米の生産支援および香芝産酒のブランド化・販路拡大支援などを行います。	●

◆ 指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初 (R1)	目標値			前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当部署
				R6	R10	R14		目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	
農業施設の改修達成率	%	改修済み箇所／改修予定箇所	100	100	100	100	100	100	12	100	100.0%	市民環境部 農林課
市内酒造会社の香芝産酒米使用率	%	香芝産酒米使用量／酒米使用量	13	18	23	28	15	18	8	19	105.6%	市民環境部 農林課

■ 実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性				担当所管
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点		所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、 現状を改善し、高めていくための方策等について記入		
必要性	有効性								
今年度の事業実施計画				効率性					
①-1	農産物鳥獣被害防止事業	【実績】 ・今年度においても豚コレラ等の影響も少なく、例年より多く捕獲することができ、農作物被害防止に貢献した。 【課題】 ・目撃情報などを元に最新の生息地域や出没地域の把握をし、猟友会と協議の上、適切且つ効率的な罠の設置を行う。	B	95 77 87	現状維持  現状維持	今後も猟友会や農事実行組合等で構成される協議会が主体となって地域の現状に即した捕獲を実施していく。	市民環境部 農林課		
①-2	地産地消推進事業	【実績】 ・酒用米生産農家に作付け面積を拡大して頂くことで、昨年度より面積の増加を図ることができた。 【課題】 ・新たな酒米の品種を模索し、さらなる作付け面積の拡大に努める。	B	67 72 95	現状維持  縮小	香芝産農産物の地産地消推進と販売促進を基本として、販売PRや食農教育、農商工連携を行い、生産者支援を実施していく。	市民環境部 農林課		



■ 施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・鳥獣被害を防止するため、目撃情報などを元に生息地域や出没地域の把握に努め、捕獲効率を上げる。 ・酒米使用の作付け面積の拡大と製品の販路開拓支援を実施すし、酒米使用率の向上を図る。
---------	---

担当課評価	
A	0 事業
B	2 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	0 事業	拡大	0 事業
現状維持	2 事業	現状維持	1 事業
縮小	0 事業	縮小	1 事業
休業止	0 事業	休業止	0 事業

# 令和6年度 行政評価 進捗管理シート

(第5次総合計画 前期基本計画 76-77 ページ)

政策名	4 まちの活力と魅力の向上のために。(産業・観光)
施策名	19 観光の振興

## 目指す姿

観光を目的とした多くの人が訪れることで、市内での消費が促進され、まちにさらなる活気が生まれている。



## 施策の主な取り組み

### ① 観光情報の発信

市内の観光情報を発信し、来訪客の増加を図ることで、まちの活力を生み出します。
--

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	
観光客数	人	市内4地点の年間推定来訪者数、観光資源を活用したイベント参加者数の合計	40,496	41,000	42,000	43,000	

### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
①-1	観光イベント実施事業	市内への来訪客の増加を図るため、観光資源を活用したイベントを実施します。また、パンフレットやSNS等を用いた情報発信、観光に関連したグッズ等の製作を行います。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	
43,396	44,000	—	39,581	90.0%	市民環境部 商工観光課

### ② 観光資源の魅力向上

市内の観光資源の魅力を高めることで、さらなる来訪者の獲得やリピーターの創出を図ります。
---

#### ◆指標の達成状況

指標名	単位	算出方法(指標説明)	計画当初	目標値			
			(R1)	R6	R10	R14	
観光客の満足度	%	観光客アンケート調査で「畜産市への観光に満足」と回答した人数/全回答者数(二上山・どんづる峯への来訪者対象)	30	40	50	60	

### ■実施する主な事業

No.	名称	概要	総合戦略
②-1	観光資源魅力向上事業	観光名所への案内標識や解説板の設置、保存を目的とした整備等によって、アクセスや快適性の向上を図ります。	●

前年度実績値 (R5)	今年度の進捗				担当所管
	目標値	中間値 (9月末)	実績値 (年度末)	目標達成率 (R6年度比)	
72	75	—	77	102.7%	市民環境部 商工観光課

## ■実施する主な事業の評価

No.	事業名	今年度の事業評価			今後の方向性		
		実績と課題	担当課 評価 (A/B/C)	3視点 必要性 有効性 効率性	所管判定 成果の方向性 コストの方向性	方向性の内容(改善策) ※3視点評価の点数(100点満点)が65点以下の視点については、現状を改善し、高めていくための方策等について記入	担当所管
①-1	観光イベント実施事業	【実績】 葛城地域観光協議会のInstagramを専用のイン스타그램と契約し、葛城地域のおすすめスポットを週1回～2回のペースで更新。フォロワー数1900人越え達成。 また、5市町それぞれのPR動画を制作した。(youtube配信予定) ・大和まほうは相模連絡協議会にて、相模ゆかりの地を巡るドライブスタンプラリーを実施 ・喜望崎ウォークを9/29(日)に開催。参加者にはカッシーパーチを配布。参加者数675名 内202名にアンケート調査を実施 喜望崎ウォークの満足度確認(満足56% やや満足26% 普通16%やや不満2%) 【課題】 ・葛城地域の観光振興を図る新たなコンテンツの開発。相模発祥の地を活かしたイベントの発信を行い誘客に繋げる。 ・喜望崎ウォークの参加者の数量調整(R6は参加者が多く、参加記念品の数が不足した。)	A	80 59 90	拡充 現状維持	【成果の方向性】 市単独の他、広域連携によるイベントを通じて市内外へ観光資源をアピールし、観光客の流入及びリピーターの増加を目指す。また、過去の参加者アンケート等を踏まえ、イベント内容の改善や市マスコットキャラクターのグッズを充実させる等、満足度向上のために継続工夫する。 【コストの方向性】 現状維持	市民環境部 商工観光課
②-1	観光資源魅力向上事業	【実績】 ・文化財観光アプリ(R3.4にリリース)について、広報紙への記事掲載やチラシの配布により周知を行った。(R7.1時点のダウンロード数 約1055件) ・どんづる峯の周回遊歩道に繋がるルート整備を行った。また、既存遊歩道の維持管理として、立ち枯れの木の除去や草刈りを行った。 ・観光案内看板について、旗尾池の案内看板を設置した。(開閉型・旗尾池の区間に3か所) 【課題】 ・文化財観光アプリの利用者数の増加数の鈍化。 ・どんづる峯の周回ルートの周知。	A	80 85 90	現状維持 現状維持 現状維持	【成果の方向性】 大和・橈西万博に向け、広域連携による観光PR事業の取組が進行している。観光客の受け入れ体制を整えるため、観光地(どんづる峯など)の整備、情報発信に注力する。 【コストの方向性】 現状維持	市民環境部 商工観光課



## ■施策の方向性(改善策)

次年度の方向性	・市単独及び広域連携によるイベント等を通じて、シティプロモーション及び葛城地域の観光振興を行う。 ・観光資源としてのどんづる峯の安全性の確保及び環境保全を行い、更なる誘客を目指す。 ・文化財観光アプリを活用し、市外からの誘客、また市内での利用者数の増加を目指す。
---------	---

担当課評価	
A	2 事業
B	0 事業
C	0 事業

成果の方向性		コストの方向性	
拡充	1 事業	拡大	0 事業
現状維持	1 事業	現状維持	2 事業
縮小	0 事業	縮小	0 事業
休止	0 事業	休止	0 事業